

長野市洪水ハザードマップ(裾花川上流)①

長野市洪水ハザードマップ(裾花川上流)は、裾花川が洪水によってははん蓋した場合の浸水予測結果に基づいて、浸水の範囲とその深さ(以下浸水想定区域)ならびに避難場所などを示し、市民のみなさんの避難に役立つように作成したものです。また、大雨時に併発することの多い土砂災害の危険箇所も併せて示しています。

この浸水想定区域等は、調査時点における河道整備状況のもとで、おおむね100年に1回程度起こる大雨により発生した洪水によって、河川がはん蓋した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨、支川のはん蓋、内水によるはん蓋(小河川や水路のはん蓋)等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

日頃から自宅周辺の洪水時危険箇所などを確認し、危険を感じたら早めに避難しましょう。また、大雨の時にはがけ崩れなどの土砂災害が発生するおそれがありますので注意が必要です。気象情報や河川の状況などに注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。また、洪水の発生のおそれがあるときには、市から避難勧告や避難指示が下されますので、速やかに避難してください。あなたの家から浸水想定区域外の避難所までの経路を確認し、マップを見やすい場所に貼っておきましょう。

2010年(平成22年)3月 長野市

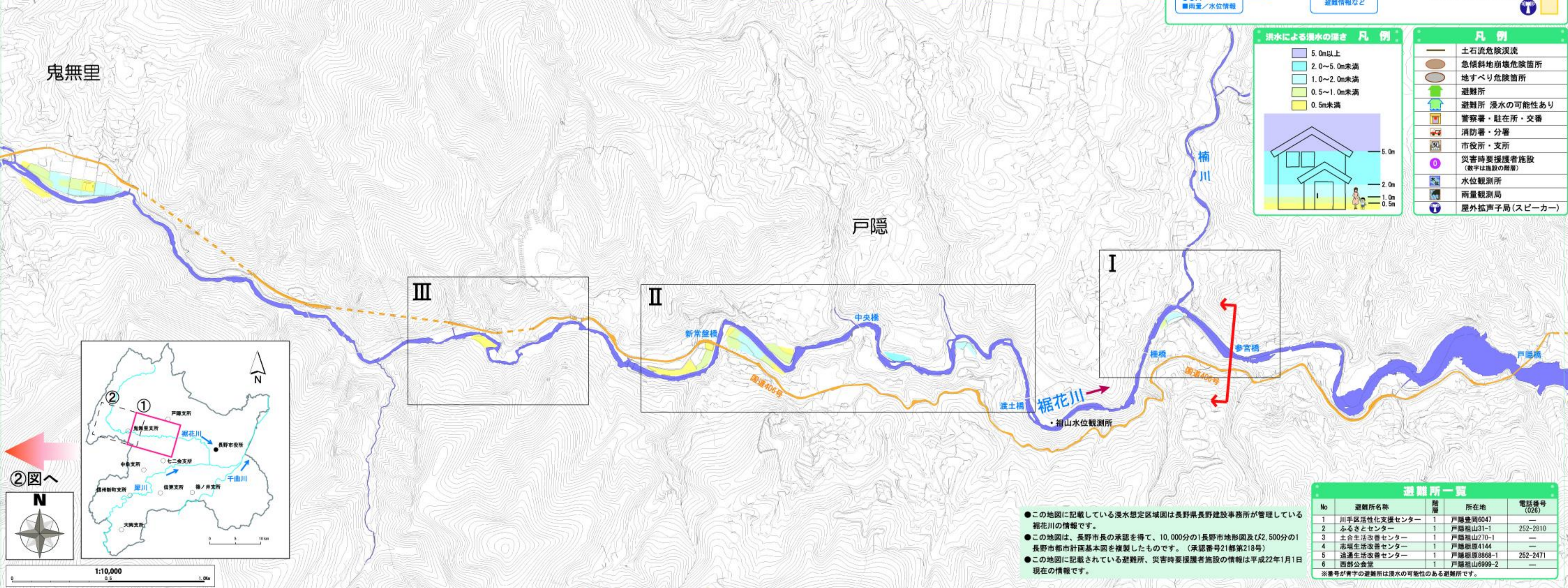
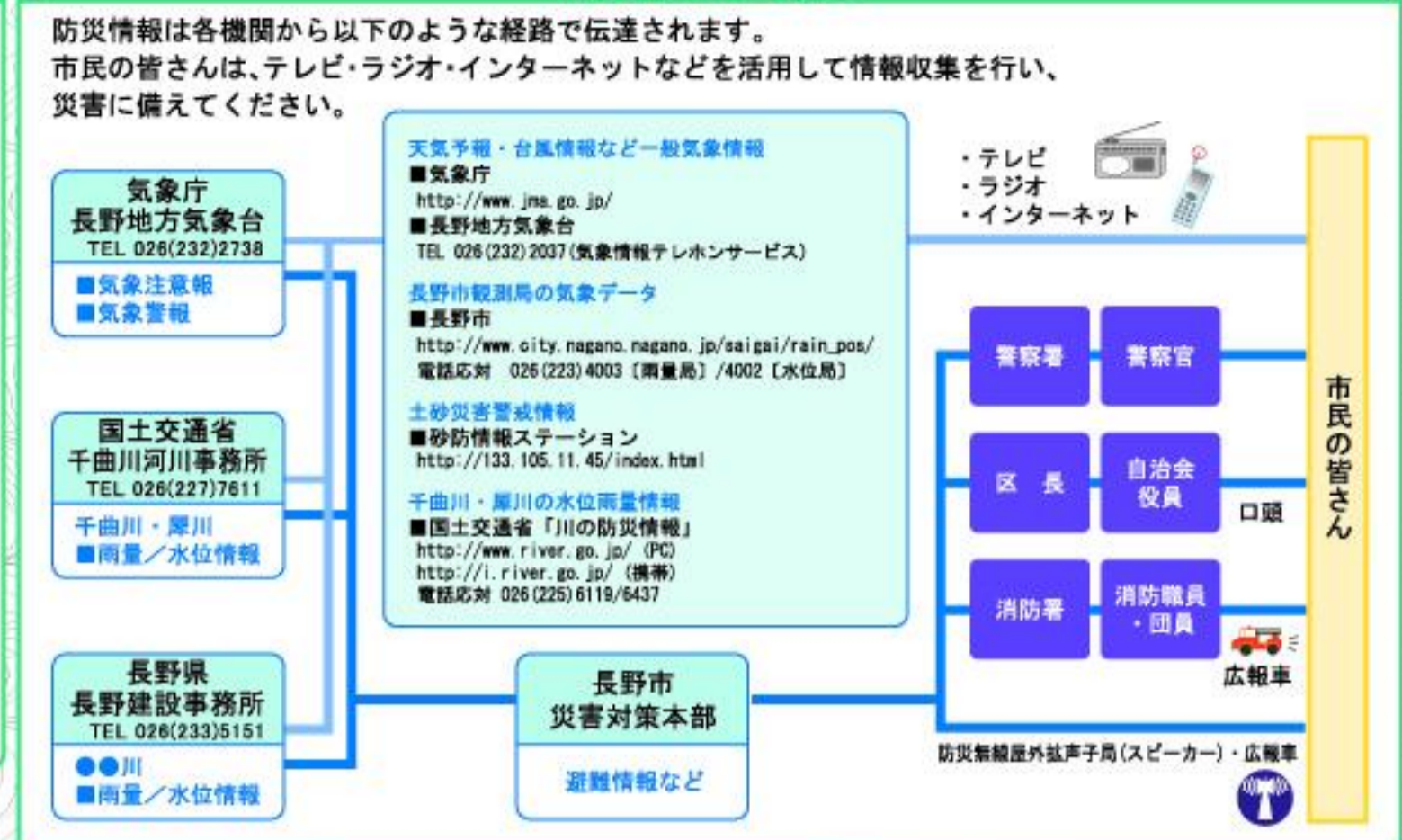
避難情報の内容

呼びかけの種類	よびかけ	とるべき行動
避難準備	〇〇川が増水しています。〇〇地区のみなさんは避難の準備をしてください。今後の情報に注意して下さい。	●いつでも避難できるように避難の準備をする。 ●ラジオやテレビの放送、市からの広報に注意する。
避難勧告	〇〇川の堤防が決壊する恐れがあります。〇〇地区のみなさんは避難所へ避難を始めて下さい。	●避難の心得を確認し、お互い協力しあって、指定された避難所に避難を始める。
避難指示	〇〇川の堤防が〇〇で決壊する危険があります。〇〇地区のみなさんは、直ちに避難所へ避難下さい。	●指定された避難所へ直ちに避難する。

避難時の心得

- 安全な避難路の事前確認**
非常持ち出し品の事前準備を
貴重品・食料1、2食分(自己調達が基本)・飲料水・ラジオ・懐中電灯・タオル・着替え・ロープ(家財搬送に応じて)・粉ミルク・紙おむつなど
- 正確な情報収集と自主的な避難**
避難の呼びかけに注意を
- お年寄りなどの避難に協力を**
避難場所まで遠い人や、介護が必要な人以外は徒歩で避難する
- 水深が腰まで達したら、もう危険。2層などで救助を待つ**
動きやすい服装、2人以上で避難を
- 長靴は中に水が入って歩きにくい。紐で締められる運動靴などで避難する**
路面が冠水している、側溝や歩道の段差がわからない。降りやみロープを準備し、できるだけ避難の準備をしておく(ベテランの者が必ず持っているものを活用)

情報の伝達経路



避難所一覧

No	避難所名称	階層	所在地	電話番号(026)
1	川手区活性化支援センター	1	戸隠豊田6047	—
2	ふるさとセンター	1	戸隠山31-1	252-2810
3	土合生活改善センター	1	戸隠山270-1	—
4	志埴生活改善センター	1	戸隠原4144	—
5	追通生活改善センター	1	戸隠原8868-1	252-2471
6	西部公会堂	1	戸隠山6999-2	—

※番号が青字の避難所は浸水の可能性がある避難所です。

- この地図に記載している浸水想定区域は長野県長野建設事務所が管理している裾花川の情報です。
- この地図は、長野市長の承認を得て、10,000分の1長野市地形図及び2,500分の1長野市都市計画基本図を複製したものです。(承認番号21都第218号)
- この地図に記載されている避難所、災害時要援護施設の情報は平成22年1月1日現在の情報です。

